

新築工事現場の火災が多発！

建築工事現場で使用している断熱材や発泡スチロール等の可燃物に作業中の火花が着火したことによる火災が連続して発生しています！

注意



- 平成31年1月
江東区大島 耐火 地下1階/地上3階
焼損床面積 234 m² 傷者 3名
- 平成31年1月
港区新橋 耐火 地下2階/地上27階
焼損床面積 100 m² 傷者 4名
- 平成30年7月
多摩市唐木田 耐火地下3階/地上3階
焼損床面積 400 m² 天井断熱材 5,000 m²
死者 5名 傷者 42

いますぐチェック・工事現場の点検をしよう！

出火防止	<ul style="list-style-type: none">○可燃性物品や危険物等の近くでの火気の使用の禁止○やむを得ない場合は、可燃物の除去や火花が飛び散らないように周囲を不燃性のシート等で完全に遮へい○初期消火のために消火器等を配置○作業指揮者を選任し、作業場周辺の点検や作業中の監視
避難経路の確保	<ul style="list-style-type: none">○地階からの避難のために避難口誘導灯や非常用の照明装置等の設置○作業場所の整理整頓（避難経路に資材等を置かない）
防災教育・訓練	<ul style="list-style-type: none">○全作業員に工事中の遵守事項等の徹底○定期的な訓練の実施により全員が消火器等を使用できるようにする

お問合せ先

城東消防署予防課防火管理係 3637-0119
(江東区亀戸六丁目42番9号)

緊急

新築工事現場の火災で複数のけが人が発生！

なくそう！工事現場からの火災

平成31年1月19日、城東消防署管内の新築工事現場において火災が発生し、けが人が発生しました。

建物工事（解体など新築以外も含む）に関連した火災は、東京消防庁管内で毎年約100件発生しています。主な出火原因として、溶接や溶断作業による火花の飛散や作業員等の喫煙の不始末、夜間施錠されていない工事現場への放火などがあげられます。同種の火災を起こさないように次の対策を徹底し、火災予防の万全を図っていただくようお願いします。



★工事現場の主な出火原因★

作業区分別	1位	溶接・溶断作業	2位	電気作業
作業関係以外	1位	放火	2位	たばこ

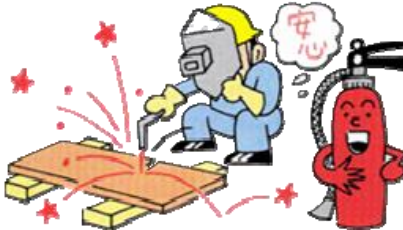


● 工事中の火災予防対策（今すぐチェック✓！）

火気を使用する際は、付近に可燃物がないことを確認



火気周囲を不燃性シート等で遮へい、消火器等の準備



避難経路となる付近に物品等を置かない



喫煙は決められた場所で行うことの徹底



塗料等の危険物は必ず保管庫で保管



工事開始、終了時の入室者の確実な把握と施錠



★工事中の防火管理については、東京消防庁ホームページも併せてご覧ください。

（トップページ→安全・安心情報→事業所アドバイス・工事中の防火管理）

東京消防

検索

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>



問合せ先

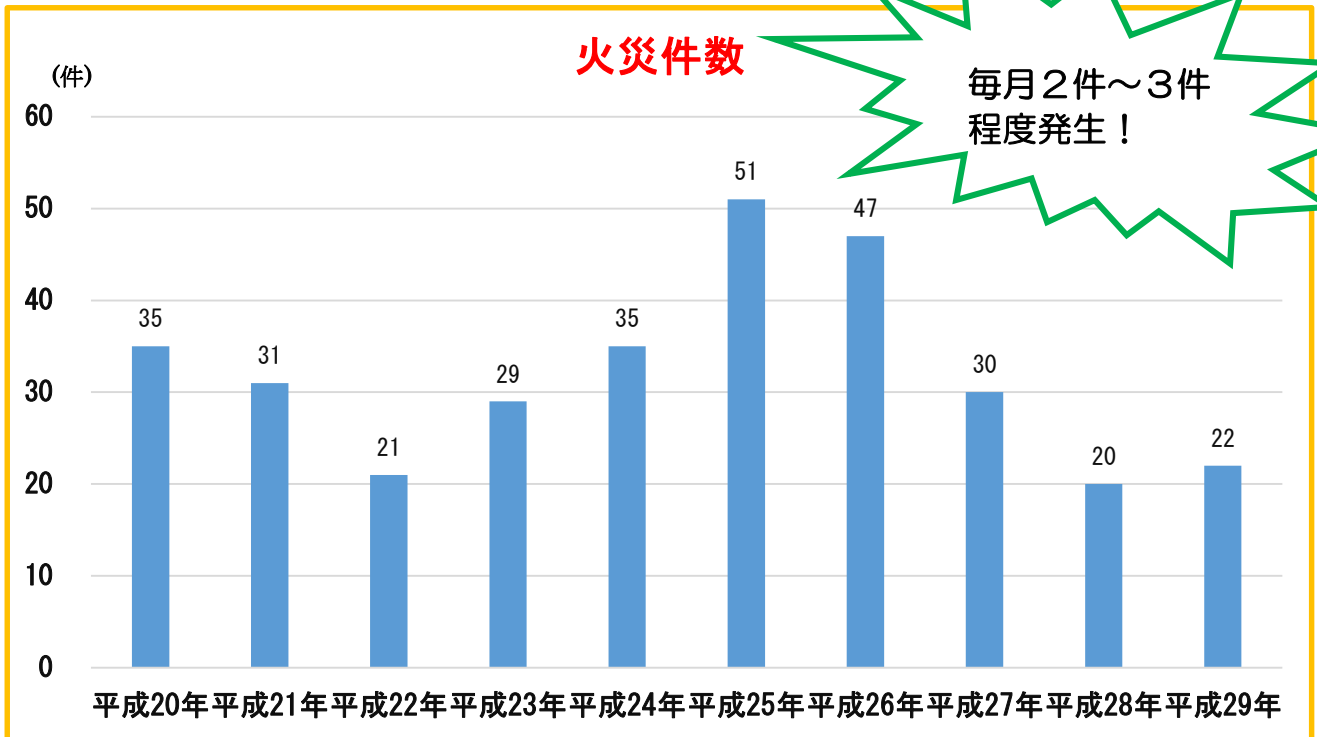
城東消防署予防課防火管理係

電話 03-3637-0119（代）

内線520

最近 10 年間の新築工事現場の火災発生状況

(東京消防庁管内)



※ 平成30年7月27日現在、すでに 15 件発生しています

